

トピック(テーマ)	金井正		
ねらい	大正デモクラシー期の上田・小県地域は、蚕種製造業のさらなる発展のために最先端の科学的知識を積極的に享受した。その産業から得られた富を背景に新たな文化・教育、政治や産業など各分野で斬新な事業をつぎつぎと誕生させていった。その誕生に積極的にかかわっていった青壮年たちの働きには目を見張るものがあった。その一人として注視されるのが小県郡神川村国分生まれの金井正である。金井は、一世の歴史を刻む児童自由画教育・農民美術の他に、社会教育の始まりともいえる信濃(上田)自由大学の開講にこの事業を中心になって推進した山越脩蔵とともに、ときの画家や哲学者らと連帯して始めた人である。蚕種業家に生まれた金井は、家庭の事情で大学に進めなかった分、自学自習で哲学書を読み新たな知識の習得に励み行動に移す人であった。後に村長となり神川村をけん引することになっていった金井の哲学や思想、社会の動きを見つめる目、行動力に学ぶものは大きい。		
キーワード	山本鼎 西田幾多郎 山越脩蔵 土田杏村 児童自由画 農民美術 神川読書会 高倉輝 信濃(上田)自由大学 『神川』		
概要を知るためのツール	1	書名	上田市誌 人物編 明日をひらいた上田の人びと
		著者名	上田市誌編さん委員会／編集
		出版社	上田市
		出版年	2003
		内容紹介	「哲学を志し農民美術や自由大学など郷土に尽くした篤志家」として概要を記述
資料リスト	1	書名	夜あけの星 自由大学／自由画／農民美術を築いた人たち
		著者名	小崎軍司／著
		出版社	造形社
		出版年	1975
		内容紹介	この「伝記小説」は金井が農民美術などいくつかの新たな事業を起こしていく様子が関係者の動きとともに系統的に記述されていることから金井の全体像を理解することができる。
	2	書名	金井正選集 大正デモクラシー・ファシズム・戦後民主主義の証言
		著者名	大槻隆／編
		出版社	早稲田大学教育学部大槻研究室
		出版年	1983
		内容紹介	この中の5頁にわたる「金井正研究史」は金井研究の上で助かる。41の論文が掲載されている。その中でも注目される満州放棄論の提唱をした「軍備ニ関スル卑見」(1915年)がある。
	3	書名	山越脩蔵選集—共生・経世・文化の世界—
		著者名	大槻隆／編
		出版社	早稲田大学教育学部大槻研究室
		出版年	2002
		内容紹介	金井正と一心同体で事業をともに行った山越脩蔵側から見た金井論
	4	書名	清流
著者名		金井正／著	
出版社		丸子町 金井信子	
出版年		2002.1	
内容紹介		金井正遺稿集	
雑誌	1	論題名	金井正の思想と行動 1
		著者名	長島伸一／著

		雑誌名	長野大学紀要
		出版年	2012.11
		巻号頁数	第34巻第2号(通巻第126号)
インターネット	1	サイト名	上田市マルチメディア情報センター 上田を支えた人々 上田人物伝
		URL	<a href="https://museum.umic.jp/iinbutu/data/007.html">https://museum.umic.jp/iinbutu/data/007.html</a>
		概要	哲学を志し農民美術自由大学など郷土に尽くした篤志家として紹介
新聞	1	見出し	山本鼎の農民美術運動支援 業績見直しへ
		発行機関	信濃毎日新聞 朝刊19ページ
		年月日	1999.12.3
	2	見出し	近現代史研究会
		発行機関	信濃毎日新聞 朝刊14ページ
		年月日	2004.11.9
	3	見出し	農民美術の歴史たどる 中村さん 本出版
		発行機関	信濃毎日新聞 朝刊17ページ
		年月日	2006.1.20
コメント			上田市誌において金井正の記述がみられるのは下記 14新しい社会を求めて 18生涯学習と文化活動 20上田市民のくらしと戦争 21学校教育のあゆみ 29総説 上田の歴史